



# 公益財団法人 School Aid Japan

## バングラデシュ通信

### 2013年1月号 No. 1



## Narayankul Dream Model High School 開校！

バングラデシュの首都「ダッカ」から車で1時間半の場所にある、プーバイル市ナラヤンクル。2013年1月5日、そこに Narayankul Dream Model High School (NDMHS) が開校しました。バングラデシュの教育モデルをつくり、そのノウハウを広めていくことを目的とする学校です。公益財団法人 School Aid Japan が、学校法人郁文館夢学園と現地の NGO である Basic Development Partners に協力していただいて運営します。

本号より、バングラデシュ事情等も合わせながら、NDMHS の様子を中心に発信させていただきます。



同日行われた開校式では、生徒たちが校歌「君の夢が叶いますように（ベンガル語版）」を元気いっぱい斉唱しました。（左上写真）

制服デザインを、会場のみなさんの拍手の大きさに決定するプログラムもありました。（右上写真）

「僕の夢は、エンジニアになることです。そのためにこの学校で学びます。」と、生徒代表のシマント君は、意気揚々と夢宣言をしてくれました。



### 校長挨拶

NDMHS は「子どもたちの幸せのためだけに学校はある」という理念の下、「子どもたちに夢を持たせ、夢を追わせ、夢を叶えさせる」という教育目的を達成するための教育を実践します。

大いなる夢を持ち、その夢に向かい一歩ずつ努力を重ねる道のりの中で、人として成長し、ありがとうを集めて生きていく。そんな人物を育てていきます。

## 第1回 教職員理念研修

2013年1月6日、第1回教職員理念研修を行いました。仕事をしていく上で、常に立ち戻るべき基本的価値観とも言える理念、そして教育目的について、学校法人郁文館夢学園理事長を務める渡邊美樹代表理事とNDMHS教職員が3時間に渡り、熱い議論を交わしました。

何のために教育をするのか。教員として最も重要とも言えるテーマを共有し、一丸となり教育をスタートさせます。

バングラデシュで採用した教員たちから代表理事への、「日本と違う環境であるバングラデシュで、夢教育を本当に機能させるために、私たちはどうしてゆくべきでしょうか。」という問いに対し、「きっとそのままでは十分とは言えないでしょう。日本の夢教育を持ち込み、そのまま行うのではなく、私たちみんなで変化を加えていくこと、そしてバングラデシュで一番、生徒の幸せを考え、生徒に寄り添う教育を行う事が、私たちの仕事です。」と代表理事。バングラデシュの文化や社会背景を踏まえ、教育システムを進化させていきます。

